

75歳以上の医療費窓口負担2倍化中止を求める意見書

2021年6月、75歳以上で所得が一定額を超える方の医療費窓口負担を1割から2割に引き上げる法案が与党などの賛成で可決、成立したことにより、2022年10月から医療費窓口負担の2倍化が実施されようとしている。引き上げの対象となる高齢者は約370万人で、一人当たりの負担増は平均年間約2万6千円にもなる。物価高騰や景気悪化、年金削減という状況の中で行われる高齢者の医療費負担増は、医療の受診抑制をすすめ、健康悪化をもたらすことになる。また、政府は、「現役世代の負担軽減」をあげているが、高齢者の窓口負担2倍化による現役世代の負担軽減は一人当たり年間350円、1ヶ月あたり約30円の保険料軽減にしかない。

よって、町田市議会は、政府に対し、高齢者の健康と暮らしを守るために、税の再配分強化などにより国庫負担増の財源を確保し、75歳以上の医療費窓口負担2倍化実施の中止を求めるものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。